



横浜市立相沢小学校

2月号 R3.1.29

# 学校だより



学校 HP QR コード

## ギガ GIGAスクール構想実現に向けて

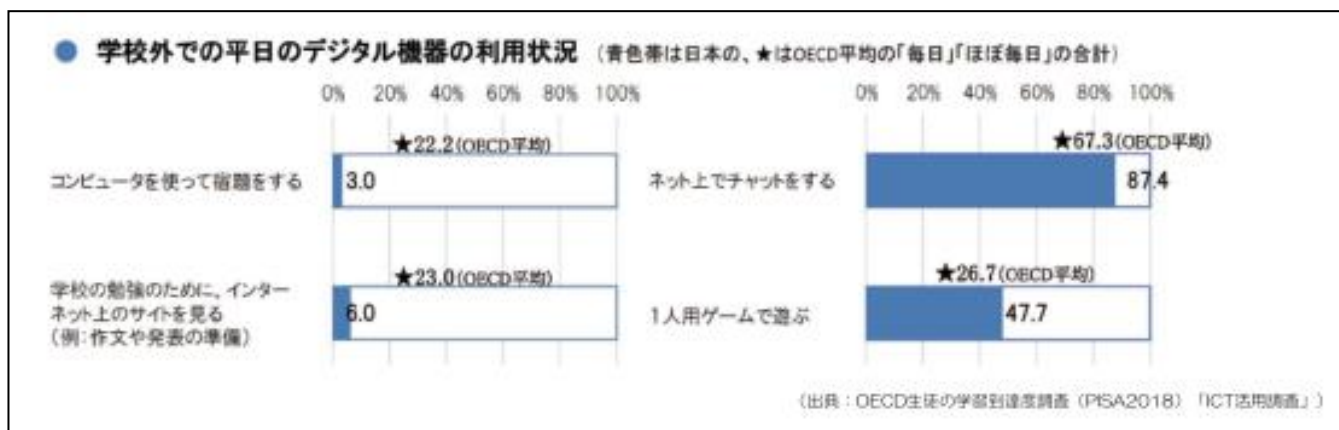
副校長 井上 文裕

1月7日に再発出された緊急事態宣言に伴い、学校行事等の急な変更に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。引き続き、感染症対策等を実施しながら、学習活動を進めてまいりたいと思います。

さて、GIGA スクール構想という言葉が新聞報道等によく聞かれるようになってきました。GIGA スクール構想とは、令和元年度に文部科学省より示されたもので、児童1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、教育 ICT 環境の実現を図り、これまでの教育実践と最先端の ICT をミックスすることで、教師・児童の力を最大限に引き出すというものです。(令和3年度より順次実施)GIGA スクール構想の実現は、新たな時代である「Society5.0」を生きていく子ども達にとって必要不可欠であると思います。

では現時点で子ども達はどのように ICT を活用しているのでしょうか。OECD(経済協力開発機構)は、5年ごとに子ども達の学習到達度調査を行っており、直近の「ICT 活用調査」は次の表の通りでした。

(文部科学省 HP より)



上記の表では、学校外での ICT 利用は、学習面では OECD 平均以下、学習外では OECD 平均以上であり、子どもの学校外での ICT 使用は「学習外」に比重があると言えます。これらのことから日本の子ども達にとって、ICT 機器は学習ツールというよりも遊びのツールであるという実態も見えてきます。このような現状を改善すべく、GIGA スクール構想と学習活動を結び付けながら、指導にあたりたいと思います。また、各ご家庭におかれましても ICT 機器の適切な利用のご指導をいただきながら、学校とご家庭が両輪となって子ども達の ICT スキルの向上を目指していければと思います。引き続き、どうぞ宜しくお願いいたします。



# 学びあい 認めあい 支えあい 夢をはぐくむ あいざわっ子